

地質ニュース

昭和 37 年 4 月

第 92 号

1962

豊かな水を求めて	1
工業用水 四つの要素	4
工業用水の用途別	7
工業用水問題の焦点	8
地質調査所における工業用水調査 その現況と成果	14
河川水文測量	17
水質調査	20
電気探査と電気検層	21
帯水層試験	22
水位水質観測	23
工業用水法の指定と許可基準	25
建設進む工業用水道	28
工業用水の確保と日本工業用水協会の役割	32
井戸管理の原則とその普及	34
用水使用の合理化	36
冷却・冷房排水の地下還流	38
海水の淡水化	39
水利用の自主規制	40
用水型工業の適地	42
工場立地と水五則	45

地質調査所工業用水課 共編
社団法人日本工業用水協会

編集 地質調査所

表紙の写真

水が工業生産に不可欠の素材であり 同時に用水型産業の立地を左右する重要な地点的資源であるということには もはや疑問の余地がなくなる。そしてせまいわが国土の上では 至るところで利用上の競合の起る公算がすこぶる大きく 水が求めにくくなっている傾向には憂慮すべきものがある。最近の実績によると 日量 1m^3 の用水をえるには 1万数千円から 2万円近い建設投資が必要になってきており 新設工場

の建設費のなかに占める用水施設費の割合は年々たかまわっている。しかし そのくせなお水は依然として 多くの企業 多くの現場で 甘やかされており 同時に冷遇されている場合が少なくない。なるほど大企業では使用合理化の途が少しづつ開拓されているし 多くの浄水装置メーカーの手によって水処理の技術は著しく高度に開発されているが そうした大企業以外の企業で けっこう用水型の素質をもっているものが少なくないし そうした工場ほど緊急解決を要する問題を沢山にもっている。

しかもそれでいて 水ほど素直なものはないし また 水ほど千変万化美しくも みにくくもみえるけけ物もほかにその例は少ない。無機物でこそあれ 見よう 扱えよう 捕えようによっては 生きものといった感じがする。工場の肺にもたえられる貯水池に いままさに注ぎ込もうとする良質 低温の水もまた それをフィルムに映しだすと コントラストの具合では 死にもし 生きもする。

発行 株式会社 実業公報社